



ちばりは ニュース

2010年8月 発行 第3号

千葉県千葉リハビリテーションセンター 広報誌



〒266-0005
千葉市緑区誉田町1-45-2
TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857
ホームページアドレス
<http://www.chiba-reha.jp/reha/reha.html>

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

理 念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

—私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します—

基本方針

- 利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
- 日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。
- 地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。



リハビリテーション療法部長あいさつ



副部長 (成人療法室長) おおつか えみこ 大塚 恵美子
リハビリテーション療法部長 みやまえ のぶひこ 宮前 信彦
副部長 (小児療法室長) ちねん ひろみ 知念 洋美

皆さんこんにちは、リハビリテーション療法部を紹介させていただきます。リハビリテーション療法部は理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、視能矯正科、心理発達科から成り、若手からベテランスタッフまで多くの専門職が一丸となって利用者サービスにあたっています。昭和56年(1981)センター開設時から平成17年度(2005)までは訓練治療部といっていたのですが、「訓練」という表現が受身的な印象にとられることや患者様自身の「自立することの意思」を大切にしながら支援していくとの考えで、平成18年度(2006)から名称を現在のリハビリテーション療法部に改め、以来5年が経過しました。

この間利用者サービスの改善のため、スタッフの増員をはかり、平成20年10月からは1階の理学療法訓練室、水治療室を改修し、理学療法と作業療法が一体化したリハビリテーション療法室、(成人療法室、小児療法室)としてリニューアル致しました。更にリハビリテーション療法部の理念「障害児者や高齢者など利用者並びに家族の生活と生きがいを支え、幸せづくりに貢献します」を掲げ、乳幼児から成人・高齢者まで幅広く、センターのご利用者おひとりおひとりとご家族の幸せづくりのため、スタッフ一人一人が専門職としての自覚をもって技術知識の研鑽に努めています。



今年度は、総勢70名を越える大所帯となり、部内、部外のチームワークがより密にはかれるよう、成人医療部門を担当する成人療法室と、愛育園(肢体不自由児施設)、陽育園(重症心身障害児施設)及び小児外来を担当する小児療法室を置き、大塚成人療法室長(心理発達治療士)、知念小児療法室長(言語聴覚士)を柱として各スタッフがリハビリテーション業務にあたっています。補装具製作施設の義肢装具士もリハチームの一員として仕事をしています。

今後も当センターがリハビリテーションの分野で千葉県になくてはならない存在となるよう一層努力してまいります。



～リハビリテーション療法部 理念～
障害児者や高齢者など利用者ならびに
家族の生活と生きがいを支え、
幸せづくりに貢献します

患者様の写真については、掲載の了解を頂いています。

リハビリテーション療法部の紹介

リハビリテーション療法部には**5つの職種**の**訓練スタッフ**がいます。

- 1) **理学療法士 (PT)** . . . 「立つ・座る・歩く」といった身体の基本的な動きの訓練や、車いす、座位保持いす作製 に関わります。
- 2) **作業療法士 (OT)** . . . 身体の応用的な動きの訓練、たとえば、手と目を協調させて使う描画、書字、食事、着替え、家事動作（調理など）、パソコンの操作などの活動を支援します。
- 3) **言語聴覚士 (ST)** . . . 発声、言語、嚥下（えんげ）、聴覚などの訓練やコミュニケーション機器・補聴器などの適合に関わります。
- 4) **心理発達治療士** . . . 発達検査や知能検査を通してこころの発達や学習および高次脳機能障害について本人、家族、周囲の人に助言・支援を行います。
- 5) **視能訓練士** . . . 両眼を使って見る機能の検査や訓練を行い、メガネの適合や見えづらさを補助する機器の使用を支援します。

リハビリテーション療法部は、それまで各職種ごとの科を中心とする体制でしたが、平成22年度より小児療法室と成人療法室を中心とする体制に編成が変わりました。

これによって、同じ患者様にかかわる職種間の連携をさらに強め、支援の充実を図っています。

成人療法室の取り組み

成人の方を取りまく各科のリハビリの内容をご紹介します！

理学療法科

脳血管障害、頭部外傷、脊髄損傷、四肢切断や整形外科術後の方を対象に機能訓練を行ない、運動能力の向上と回復の支援をしていきます。右の写真は外出訓練の様子です。



作業療法科

作業活動を通して身体機能の向上、身の回り動作の練習をします。生活を豊かにするために、家事動作訓練、職業訓練、自動車運転再開に向け支援します。

右の写真は調理動作訓練の様子です。



言語聴覚科

脳卒中による失語症の患者様に、言葉の理解の訓練を行っている様子です。（写真右）



心理発達科

人生途上に障害を負われた方を主な対象に、心理評価や面接・相談を行っています。

写真は、脳血管障害、頭部外傷などによる高次脳機能障害の方を対象としたグループ訓練の様子です。



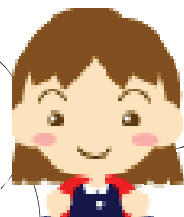
嚥下（えんげ）障害の検査をしている様子です。（写真左）



小児療法室の取り組み

ここでは愛育園に入園しているAちゃんとBくん、2人のお子さんへの関わりを紹介します。

何でも自分でやってみたいAちゃんが好きなお絵かきを楽しむためには、まずしっかり座れることが不可欠です。PTとOTが座位の安定を図る訓練を行います。また、PTはいすを調整し、OTはペンを持ちやすくなるように首や肩の動きを楽にします。



Aちゃん
脳性まひ

体が硬く動きにくい

おしゃべりなAちゃんですが、声が小さく離れたお友だちには聞こえません。大きな声が出せるように、PTではからだをリラックスさせ、胸の動きを大きくし、深い呼吸の練習をします。

STでは深い呼吸とともに声を長く続かせる練習や発音の練習をします。

じっくり見ることも大切です。視能訓練士が斜視についての検査をし、眼鏡の見え方も調整します。

Aちゃんの発達全般について心理発達治療士が評価し、各スタッフに助言を行います。

注意力をつけるために記号表をよく見てビーズなどを配置する作業や、問題をじっくり読んでから質問に答える練習をOTやSTで行っています。



Bくん
高次脳機能障害

以前に比べて疲れやすくなったため、PTでなわとびやバスケットボールなどの運動を行いながら、体力をつけて覚醒を高めたり、ルールに従いながらゲームをします。

記憶を補う方法をSTや心理発達治療士から提案しています。たとえば週間スケジュールの載っているメモリーノートを持ち歩き、次の日の持ち物など大切なことを書き込みます。そして訓練場面だけでなく、特別支援学校や病棟などの生活場面でも使う練習をしています。

脳が傷ついたことで認知(物ごとのとらえ方)や行動に変化が生じました。例えば注意がそれて別のことをしてしまったり、新しいことを覚えにくくなりました。

復学の時期が近づいているので、特別支援学校のコーディネータの先生と連絡を取りながら準備を進めています。

そして復学後にはスタッフがBくんの学校を訪問して、Bくんの高次脳機能障害について先生方にご理解いただき対応の仕方に配慮をお願いしたり、相談に乗る予定です。



RS(リハビリテーション・スポーツ)

リハビリテーションスポーツ(RS)は、スポーツを通して心身の健康増進、体力の維持・向上、生活の質の向上を図ることを目的としています。

退院したメンバーで車椅子バスケットチームをつくっています！

入院RSでは車椅子操作スキルの訓練、

外来RSでは車椅子

バスケットボール、

更生園RSではグループに応じた様々なスポーツ・レクリエーションを行なっています。

気軽に大ホールに見学にきてください(^o^)/



補装具製作施設



義肢や装具だけでなく、車椅子のアームレストをつくったり、自具づくりのお手伝いなどもしています！

義肢装具士は、センター利用者の生活の質が向上するような物を訓練士と協力しながら作っています。

イベントのご案内

脊髄損傷者の生活を豊かに

第8回 脊髄損傷リハビリテーション講習会

【参加対象】
脊髄損傷者
～参加費無料～

日時 平成22年 11月6日(土)
開場 13:00 (受付開始) 13:15～16:00
会場 千葉リハビリテーションセンター 大ホール

定員:100名

講演1:
13:25～14:10
出会いはいかに?
～旅の不安を取り除く新しい旅のカタチをこぼる～
株式会社エイチ・アイ・エス ペリアフリーデスク 所長
伴流 高志 様
講演も
高げる。あの

講演2:
14:20～15:00
脊損の痛みと痙攣
横浜市立大学附属病院リハビリテーション科 部長・准教授
水落 和也 様
痙攣の発生から

主催:千葉県脊髄リハビリテーションセンター
助成:日本損害保険協会
協賛:いすゞ自動車株式会社
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
本館 千葉リハビリテーションセンター
〒343-0211 千葉県千葉市美浜区新堀4-1-1
TEL 043-251-1111 FAX 043-251-1147

日本損害保険協会 JONPO
The Japan Insurance Association of Japan

この講習会は日本損害保険協会の助成を受けて実施しています。

千葉リハビリテーションセンター 次期指定管理者への応募について

千葉リハビリテーションセンターは千葉県が設置した県立施設であり、(福)千葉県身体障害者福祉事業団が指定管理者として運営を行っています。

8月上旬に、千葉県から次期5か年(平成23～27年度)の指定管理についての募集要項が公表されました。

当事業団では、引き続き指定管理者として運営できるよう、次期指定管理期間における新たな事業計画を作成し、応募に向けた準備を進めています。

詳細については、改めてお知らせします。

センター案内図



車の利用

- ・千葉東金道路 大宮インターから約10分
- ・京葉道路 松ヶ丘インターから約25分

電車・路線バス

- ・JR千葉駅東口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約40分
- ・JR外房線鎌取駅北口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約9分

無料送迎バスのご案内(センター⇄JR鎌取駅 循環運行)

※より便利にご利用いただけるよう、4月19日付で一部増便とともに運行時間を変更しております。

JR鎌取駅北口発 千葉リハビリテーションセンター行き 千葉リハビリテーションセンター発 JR鎌取駅北口行き

時	平日	土曜日
8	10 30 50	30 50
9	10 30 50	10 30
10	10 30 50	20 40
11	10 30 50	00 20
12	10 30 50	
13	10 30 50	
14	10 30 50	
15	10 30 50	
16	10 30 50	
17	10 40	

時	平日	土曜日
8	03 23 43	23 43
9	03 23 43	03 23
10	03 23 43	13 33 53
11	03 23 43	13
12	03 23 43	
13	03 23 43	
14	03 23 43	
15	03 23 43	
16	03 23 43	
17	03 33	

- ①センター送迎バス発着場所について
鎌取駅発・・・鎌取駅北口ロータリー付近
(専用のバス停はございません)
センター発・・・センター正面玄関前
- ②車椅子ご利用の乗車定員について
中型バス(黄色)・・・2名
マイクロバス(水色)・・・3名
- ③日曜・休日は運休となります。
- ④道路混雑等により遅延する場合があります。